

【茨城県立水戸農業高等学校グランドデザイン】

学校教育目標

心身の健全な発達を図り、自主性・実践力に富む社会の有為な形成者としての人格の完成を目指し、農業経営者及び関連産業技術者の育成に努める。

豊かな人間性

- ・ 基本的な生活習慣や規範意識を身に付け、はじめのある行動を心がけることで、自主・自立の精神を育む。
- ・ 豊かな人間性や素直な心を育み、コミュニケーション能力を育成することで、いじめ防止につながるような、より良い人間関係の構築に努める。

令和3年度重点項目

- ①基本的な生活習慣の確立とコミュニケーション能力の育成 ②基礎学力の向上と系統的な進路指導体制の確立 ③特別活動及び部活動の活性化 ④健康と安全教育の充実 ⑤農業専門教育の充実と地域連携

安全・健康・体力

- ・ 学校施設等の点検・充実に努め、安全な校内環境の整備を進める。
- ・ 安全教育の徹底、特に交通事故の絶無に努める。
- ・ 健康管理に努め、健康の保持増進を図る。
- ・ 運動部・文化部等の加入率の向上を図り、部活動の活性化に努める。

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・ 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能が身に付く。
- ・ 関心・意欲が引き出され、思考力・判断力・表現力が育成される。
- ・ 主体的に進路選択ができる能力・態度が育成される。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・ 言語や知識、技術を相互作用的に活用する能力
- ・ 多様な集団による人間関係形成能力
- ・ 自律的に行動する能力
- ・ 思慮深く考える力

生徒の実態

- ・ 進路意識が高い生徒が多いが、一部で受動的な生徒もいる。
- ・ 学習に対して積極的な生徒もいるが、苦手意識を持っている生徒が多い。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

情報の共有と個に応じたきめ細かな指導  
特別支援教育委員会、いじめ防止対策委員会  
教育相談、保護者、SC、SSW、関連機関との連携

目指す生徒の姿

3 「C」

- Chance 「機会が生かせる生徒」
- Challenge 「挑戦する生徒」
- Change 「変容する生徒」
- + Communication 「挨拶できる生徒」

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ・ 将来に対する基礎的・基本的な学習
- ・ 農業各分野の実習や実践的・体験的な学習
- ・ 総合実習、課題研究、自由選択科目、学校設定科目

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ・ アクティブ・ラーニング等主体的・対話的な学びの展開
- ・ ICT 機器を活用した授業の展開
- ・ 体験活動を中心とした授業の展開

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ①教職員の資質・能力の向上を目指す研修の充実②教育課程に基づいた教育活動の展開③相互授業参観の実施 ④学校農業クラブ活動の充実
- ⑤各種資格取得への積極的な指導⑥PTA、学校評議員、関係機関との連携⑦地域と連携した体験活動の実施

安心・安全を守る

- ・ 学校施設等の点検・充実に努め、安全な校内環境整備に努める。
- ・ 安全教育の徹底、特に交通事故の絶無に努める。
- ・ 生徒の健康管理、健康の保持増進に努める。
- ・ 相談体制を充実させ、保護者、関係機関との連携を図る。

開かれた学校作り

- ・ ホームページを充実させ、積極的な情報発信に取り組む。
- ・ 毎月「農産物直売会」を開催し、地域住民との交流を図る。
- ・ 幼稚園や小学校と連携し、農業体験活動を実施する。
- ・ ボランティア活動を推進し地域に根差した活動を行う。
- ・ 学校説明会、公開授業を開き本校教育活動の周知を図る。